

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-3-2		事業名	消防力の充実に向けた消防体制の確立
担当	消防局警防部消防救助課 會木 0133-62-4119			
全体計画				
事業内容	<p>林野火災における空中消火をはじめ、山岳地での捜索・救助、重傷者の救急搬送、さらには消防活動の指揮を執るために必要な情報をヘリコプターテレビ電送システムにより映像送信するなど、特性を活かした多目的な活動を行う消防ヘリコプターであるが、整備期間中は災害対応が出来ない状況にある。                  現有機の更新時期を早め現有機を予備機として活用することにより通年運航体制を確立し、整備期間中の出動不能期間を解消する。</p>		<p style="text-align: center;">&lt;年度別の事業内容&gt;</p> 【平成20年度】消防ヘリコプター購入事業 【平成21年度以降】実施予定なし	
	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
事業内容・量・場所・規模・件数等	/		消防ヘリコプター 1機購入	
			平成21年度事業内容(予算)	
		平成22年度事業内容(予算)		

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-3-2			事業名	消防力の充実に向けた消防体制の確立		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
消防力の充実	-	-	推進			推進	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 該当なし							
企業等との連携・協働 該当なし							
市民・企業等が参加しやすい環境づくり 該当なし							
評価(成果)			課題				
			予備機の使用限界、整備費等の増大など、費用対効果を見極めながら、通年運航体制を維持する必要がある。				
今後の事業の予定・方向							
現有機の更新時期を早めたことにより、現有機を予備機として活用し長寿命化を図ることとしているが、機体の安全性を考慮しつつ、整備費や整備期間の増大など費用対効果を見極めながら、関係機関との連携を含めたさまざまな手法を検討し通年運航体制を継続していく。							

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-3-2			事業名	消防力の充実に向けた消防体制の確立					
事業費の推移											
項目				19年度	20年度	21年度	22年度	計			
計画	事業費			-	-	-	-	-			
	財源内訳	国・道	支出金								
		市	債								
		その他の	他								
予算	事業費			0	1,220,000	0	-	1,220,000			
	財源内訳	国・道	支出金	0	327,586	0		327,586			
		市	債	0	803,000	0		803,000			
		その他の	他	0	0	0		0			
実績	事業費			0	1,219,890	-	-	1,219,890			
	財源内訳	国・道	支出金	0	487,586			487,586			
		市	債	0	659,000			659,000			
		その他の	他	0	0			0			
事業費の進捗率				(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)							-
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)											
(全体)											
[19年度]											
[20年度] 事業内容を精査し予算化、計画どおり事業実施											
[21年度]											